

大会特集号「大会骨子」
ふれあい住宅デー
6月9日(日)
市内各所で開催

土建にいざ

埼玉土建一般労働組合新座支部機関紙

発行所

埼玉土建一般労働組合新座支部
〒352-0011 新座市野火止8-1-27
TEL048(481)1200 Fax048(477)9088
発行人 丸山 政信
編集責任者 岡野 和夫
5月号 定価30円(購読料は組合費に含まれています)

仲間の底力で突破！ 新年度へ向けた大きな一歩



笑顔で迎えた打上式 目標達成は仲間の努力が実った結果

春の拡大月間打上式

4月26日(金)、春の拡大月間の打上式が支部事務所を会場に67人の参加で開催されました。小池副支部長の挨拶、丸山支部長の挨拶、佐藤組織部長の挨拶、

大月間の報告が行われました。

今月間はスタートは順調でしたが、成果が伸び悩みここ数年で一番苦戦する拡大月間でした。最後の最後まで仲間から対象者情報を集め、各分会の底力が支部目標達成に繋がった拡大月間でした。

そんな中、支部の先頭に立って引っ張っていったのが新座中央分会。目標14人対して到達34人、達成率はなんと242%で全県1位の拡大数でした。最後に岸田社保対部長の団結ガンバローで解散しました。



書記長賞1位獲得の
栄池田分会



→242%の達成率を出した
新座中央分会

2024春の拡大月間目標と到達				現在			
	支部目標 4/26 【100%】	4/26 100%残	達成率	青年部 目標	到達	主婦 目標	到達
栗原	6	6	0.0%	1	2	2	3
野寺	7	0	100.0%	1	1	2	5
石堀	15	10	33.3%	1	2	2	1
御成橋	9	2	77.8%	1	1	2	2
片山	11	4	63.6%	1	1	2	2
栄池田	9	0	100.0%	1	1	2	3
馬場	10	0	100.0%	1	1	2	2
畑中	13	0	100.0%	1	1	2	2
野火止	19	0	100.0%	1	2	2	2
新座中央	14	-20	242.9%	10	10	20	22
	111	0	100.0%				

火 「班会議」は身近な集まりですが、これが一番難しい会議であります。私の班でも班会議がコロナ禍で中止になった影響で、直接支部事務所へ何か月分の組合費を持参する方も多くなっています。組合規約で「組合員は、組合費を班会議に出席し毎月納めなければならない」(第8条)と義務付けられています。

近年組合員の拡大は、事業所からの加入が8割を超しており、地域外(県外も含む)の仲間は班会議に参加できないのも現状であります。埼玉土建で地域再編を考えるべきと思います。

「班会議」を辞めて、組合費の自動引き落としにしたらと言う意見も多く、役員になりたくないのも事実であります。

先日、分会の他の班の会議を見学しました。この班は地域内の仲間がほとんどで、スムーズな納入と会議資料を説明し、仲間の様子や仕事の事など話し合っていて、年2回程、班行事を開催し交流を図っています。仲間とのつながりを深め、組合の方針を伝え、学び、知る事が出来る班会議をもう一度知恵を出し合い考えていこうではありませんか？

一年間の活動を報告

石堀分会

4月18日(木)石堀分会大会が石神集会所で組合員23名と書記1名の参加で開催されました。集約会議が終わった7時半から松田分会書記長の司会で議長に峯島組織部長を選出して始まりました。植田分会長のあいさつの後、岸田支部常執と藤原書記次長の来賓のあいさつを頂き、レジメにそって西川教宣部長



峯島議長の進行で

新座中央分会

4月21日(日)北野ふれあいの家で17名が参加して、合併後初めての新座中央分会大会を行いました。分会大会では今年度の活動報告と決算報告を行い、次年度へ向けての話し合いを行いました。新座中央分会は昨年6月から大和田分会と北東分会が合併し、役員等が中心となって活動してきました。今までの分会とは少し違う点があったりして、やりにくい部分があったかと思いますが、花



支部からお祝い

火大会を見学したりしながら親睦を深め、今までの分会での取り組み方の良いところを出し合い、廣間書記長に間に入っていたいただきながら、活動してきました。春の拡大月間では支部目標の14名を廣間書記長のお力添えをいただき、31名(4月21日現在)と大きく上回ることができました。私もなかなか行事等の活動に参加できていないのですが分会ニュースで埼玉土建の情報や活動をお伝えし、たくさんの方の組合員の方が行事等に参加してくださる様に努力していきたいと思

【新座中央 羽成珠美】

若い世代の活躍に期待を

4月24日(木)支部事務所にて会員36人、来賓4人と担当書記で第49回主婦の会総会が



開催されました。来賓の共産党市議団から頂いた挨拶では「まだ女性が多い世の中で女性が社会に進出し、言葉を発し認められる様になってきた」と女性にとつてはとても心強い挨拶を頂きました。各専門部の報告があり、今年度で会長を退任される仲与根会長から「会長は退任します

【野火止 井坂優子】

窓口取扱時間短縮のお知らせ

2024年6月1日より、働き方改善の取り組みの一環として支部事務所窓口取扱時間を変更させていただきます。組合員やご家族のみなさんにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

2024年
6月1日～ 窓口取扱時間
10:00 ~ 16:00

9:00 ~ 10:00 ならびに 16:00 ~ 17:00 は電話対応時間帯とさせていただきます。
土日祝日、夏期(8/12~16)、年末年始(12/29~1/5)は休業させていただきます。

埼玉土建一般労働組合・埼玉土建国民健康保険組合

元気に組合活動を続けていくために
①毎月、平日の25日と月末を「組合活動休息日」とし、支部事務所は17時閉所、夜間の組合活動は「お休み」とします。
②夜の諸会議は「21時までに終了」するようにしていきます。窓口取扱時間の短縮と合わせて、組合関係者のご理解とご協力をお願いします。

第54回大会議案 骨子

たたかひの経過と教訓

①ロシアによるウクライナ侵略は2年が経過し、いまだ終わりが見えない状況が続いています。この侵略は世界の平和の流れと相反して大逆流をつくりだしています。このような世界での激動のなかで、日本においてもエネルギーや食糧などの物価高騰、そして2024年の元日に石川県能登半島を襲った「能登半島地震」など、国民の苦難を取り除くべく政治の力が発揮されるべきときに、政権を担う自民党の裏金工作事件が発覚し、いまだ自民党内では金権腐敗政治が蔓延していることに、国民の怒りと政治不信は広がっています。

新座支部では市長懇談において、財政非常事態宣言の解除にともない「未来もずっと暮らしに『プラス』が生まれる豊かなまち新座」をスローガンとして掲げる新座市で暮らす市民のために制度復活・創設を要望しました。

②2月に発表された設計労務単価は政策的に12年連続で5・9%引きあがりましたが、仲間の賃金・単価の実態との乖離は開いていづです。まさに自らの道理を持った請求・要求運動が

最重要課題になっていきます。大手ゼネコン・住宅企業は引き続き、最高益をあげる状況だからこそ、何が何でも賃金・単価を引き上げる産業対策運動の前進、現場に民主的ルールを作ることが建設労働組合・埼玉土建に求められています。

新座支部では今年度も8月と3月の2回、「現場交流会（資本従事者の会）」を開催して建設情勢と大手企業交渉に向けた現場情報の交流を行いました。

③建設業の罰則付き残業時間上限規制実施が4月から開始しました。今年度は差し迫った開始に合わせ、仲間へ周知徹底のため、「建設業界まるっとガイド」を作成して学習会もすすめてきました。新座支部でも事業主を対象とした「3連続セミナー（9月・働き方改革とは/10月・就業規則・36協定/11月・ハラスメント対策）」を昨年に引き続き開催しました。

④新座支部の2024年3月現勢は「2446人」で確定し、前年3月現勢「2443人」から3年ぶりの組織実増を掴み取ることができました。分会では、6分会（栗原、石堀、馬場、畑中、野火止、新座中央）

が1%実増を勝ち取りました。全県の3月現勢は、6万4833人で確定、2023年3月から22人増・増減比0・03%となり、全県も3年ぶりの実増を果たしました。

政治・経済・平和をめぐる情勢

1、大軍拡へ負担増「43兆円」からさらに増額へ 異次元の大軍拡に向けた動き

防衛省は、2月19日に開催された安保3文書に基づく大軍拡を推進するための「防衛力の抜本的強化に関する有識者会議」の初会合の中で、2023～27年度で43兆円とする軍事費（防衛省予算）について、物価高騰や円安の影響をあげ、「見直しをタブーとせず、現実を踏まえたより実効的な水準や国民負担のあり方について議論をするべきではないか」と述べ、さらなる軍拡のための「国民負担」に言及しました。

2、健康保険証廃止・マイナ保険証の強制

岸田政権は、多くの医療機関や国民の反対の意見を無視し、12月2日に健康保険証の廃止する方針を撤回する姿勢を示していません。しかし「マイナ保険証」の国家公務員の利用率は、2023年11月現在利

用状況を4・36%と、推進側の利用が低迷していることが明らかになりました。6割の医療機関がカードリーダーのエラーなどの「トラブルがあった」事も確認されました。世論次第では、健康保険証廃止という政府方針の撤回・延期はまだ残されていますが、健康保険証の存続を求める運動は正念場を迎えています。

3、政府は消費税率5%の決断を

物価高騰は食料品をはじめめとしてあらゆる分野に及んでおり、消費税減税は、国民に届く、最も効果的な経済対策です。経済専門家

からも消費税減税によるGDPの押し上げ効果は所得税減税より大きいとする試算が出されています。消費税減税こそ、物価高騰から暮らしを守り、内需を拡大し、経済を立て直すうえで、最も有効かつ抜本的な対策です。

建設産業をめぐる情勢

1、大手・準大手ゼネコン第3四半期決算12社が売上高 過去最高

大手・準大手ゼネコン26社の2024年3月期第3四半期決算が2月14日までに出そろいました。9割を

超える24社が連結売上高で前年同期を上回り、12社が過去最高を記録しました。本業のもうけを示す営業利益は、増益15社、減益11社で、土木事業を中心に利益を確保している企業がある。いっぽう、資機材の高騰や労務の逼迫（ひっばく）といった影響を受け、収益改善が思うように進まない企業もありました。

2、トラックの昇降設備設置およびヘルメット着用義務化と適用範囲の拡大

2023年10月1日から貨物自動車での荷役作業を行う際は、昇降設備の設置が義務付けられている貨物自動車の最大積載量が5t

以上から2t以上へと対象範囲が広がられました。昇降用のステップがない場合には、別途昇降設備を用意する必要があります。ステップが取り付けられていないサイドガード部分は、昇降設備には該当しないので注意が必要です。

3、厚労省調査で22年の建設業入職者、5・2万人減 22万人に

建設業に入職した人の数は年間22万5000人となり、前年（27万3300人）より5万2800人減りました。特に、大工さんの不足は深刻で、2040年には13万になるとしています。

・拡大

①班会議を改めて、「月に一度仲間と顔を合わせる場」「来月も私は組合員と確認する場」として位置付けていきます。

6、新座支部独自の取り組み

①新座市や市議会に対して要望や意見書採択などの運動に取り組みます。また市長懇談では組合の要求を市長に届けて、仲間の要求実現に向けた運動をすすめます。

②今年7月に予定されている新座市長選挙では仲間の仕事とくらし、組合方針にもとづいた市民本位の市政を目指した運動をすすめます。

新年度の運動の重点

- 1、賃金労働対策分野**
 - ①物価上昇への対応、安定的な生活・将来設計のできる賃金、若者が建設産業へ入職したいと思える賃金を獲得するため、職種や丁場の違いを超えて、「賃金・単価引き上げ」という、共通の目標を達成するために団結していきます。
- 2、技術住宅対策分野**
 - ①地域循環型経済をめざして諸制度を調査・分析し、具体的な課題をあらかじめして、制度の創設、改善を求めます。住宅リフォーム助成制度の恒常的な復活など、地域住民の生活向上に役立ち、地域建設業者の経営に貢献する諸制度を要求
- 3、憲法・平和・民主主義を守る**
 - ①イスラエルによるパレスチナ自治区・ガザへの無差別攻撃は、ジェノサイド（集団殺害）ともいえるべき戦争犯罪であり、とうてい正当化できません。岸田政権は、イスラエルによる数々の国際法違反を一切非難せず、即時停戦も求めません。2024年度は、戦争やめろ！戦争する国づくりやめろ！岸田改憲・岸田大軍拡NO！の国民的大運動を広げ、あらゆる組織活動に結合させ奮闘していきます。
- 4、社会保障対策・共済分**
- 5、組織建設、組織の強化**
- 6、拡大**
 - ①班会議を改めて、「月に一度仲間と顔を合わせる場」「来月も私は組合員と確認する場」として位置付けていきます。
 - ②今年7月に予定されている新座市長選挙では仲間の仕事とくらし、組合方針にもとづいた市民本位の市政を目指した運動をすすめます。

労働協約をめざして 「働くルール」づくりを

【運動の経過】

1、賃金アンケートの結果
要求賃金については、日額平均2万5200円、月収平均5万8046円、年収平均762万円となりました。全体の要求賃金額は762万円と確認しました。

2、賃金調査活動

労働者の平均賃金は日額1万6132円と168円減、手間は2万452円と196円増、一人親方は2万878円と60円増となり、労働者、一人親方、手間は若干の変動はありますが、ほぼ横ばいという結果となりました。

3、公契約条例制定に向けた取り組み

11月13日に行った埼玉労働自治体キャラバンでは、新座市の公契約条例制定の課題について、前回懇談時と変わらず「人員不足・国の法律との兼ね合いで検討にも至っていない」と回答がありました。

4、賃金運動をすすめる取り組み

①資本従事者の会

今年度は丁場や働き方を問わず「現役で」働く仲間を集め、交流会形式で建設従事者の実態把握をすすめました。

また、仲間の職種や働き方、CCUS登録状況、36協定締結状況等を把握するために、秋の拡大月間と連動して「全組合員アンケート」を行いました。

②GOGO行動 現場訪問

公共・民間ともに、物価高騰による下請からの単価交渉や、熱中症予防のための休憩時間変更・延長の申し出には適宜応じていることが分かりました。

③地元企業懇談

「4月からの働き方改革全面適用に向けては、支部開催のセミナーで講師をした社労士に依頼して各種届出や規則を改めて整備している」「公契約条例のようなルール作りは各自自治体で必要だと思おう」という回答があり、「パートナーシップ協約書」も取り交わしました。

5、建設キャリアアップシステム

今年度は技能者登録3カ年目標の最終年度で、支部では目標378人に対して、技能者登録者数381人でした。

6、働き方改革関連法学習

今年4月からの「全面適用」により「建設業は関係ない、できない」が通用し

なくなることを学びました。

7、アスベスト労災認定の取り組み状況

今年度新たに3人に給付金申請を働きかけ、所在不明者2人を除き、支部の労災認定者全員への声かけが完了しました。

8、建設アスベスト街頭宣伝行動

今年度は、3か月に1度のペースで、街頭「大宣伝」を行い、のべ104人が参加し、署名は合計65筆集まりました。

9、自治体の意見書採択

6月の新座市議会に「建設アスベスト給付金法の改正を求める陳情書」を提出し、「不採択」となりまし

た。

学習会などで市内業者の賛同も得ながら要請していき

1、適切な賃金・単価をめざして

11月から賃金討議を実施し、その結果を本部で分析、組合としての要求賃金を決定していきます。

2、賃金調査活動

4月に賃金アンケートを実施し、仲間の賃金実態を分析していきます。分析結果は、大手企業交渉等にいかしていきます。

3、公契約条例制定に向けた取り組み

引き続き、条例制定に向け、新座市の担当課職員の増員や組合との懇談会実施を、「GOGO行動（現場訪問・地元企業懇談）」や

技術・技能の向上、仲間の仕事と経営を守る取組

【運動の経過】

1、第46回ふれあい住宅デーの取り組み

6月11日を中心に全県で行われ、今年度はコロナ禍以前に戻し、4年ぶりに飲食などに制限を求めない、年度スタートの一大イベントとして10分会10会場で取り組まれました。

2、安全安心のまちづくりの取り組み

9月22日に全10分会26人の参加（野寺のみ9/27）で、修繕・改善箇所30件・前回の点検22件の合計52件

4、現場交流会（支部資本従事者の会）

丁場や働き方を問わず、現役で働く仲間の現場の声を交流会形式で集め、運動につなげていきます。

5、建設キャリアアップシステム

全建総連ではCCUS登録推進を図るため、第二次3ヶ年目標が設定され、埼玉建は組織数の2割を目標に技能者登録を推進します。

6、GOGO行動

夏（7〜8月）に全国安と一揃にタイムコースターを作成しました。

4、次世代部との協力

畑中公民館の木工作講座に1人、学童タイムコースター教室に4人の次世代部の仲間が協力してくれました。

5、自治体対策

12月20日に新座市長に要請をしました。要請項目は、小規模工事登録制度の拡充、住宅リフォーム助成制度の創設（復活）、災害協定締結の準備などです。

6、応急仮設木造住宅

石川県能登地方を震源とする地震が発生、輪島市や珠洲市では多数の住宅・建築物が倒壊しました。全建総連と全国工務店協会が構成する全国木造建設

7、働き方改革関連法学習

2024年4月で建設業の働き方改革関連法の猶予期間が終わり、罰則付き時間外上限規制が始まりました。引き続き、働き方改革関連法の周知・36協定締結状況の把握をすすめていきます。「事業主、労働者どちらからも被害者を出さない」ための学習会を開催します。

8、労働安全衛生委員会

事業協会は、労働者供給事業として、石川県での応急仮設木造住宅の建設を行うことを決定しました。

【新年度方針】

1、第47回ふれあい住宅デーの取り組み

6月9日（日）の開催を準備します。

2、安全安心のまちづくりの取り組み

地元の建設労働組合として、建設職人ならではの目線で取り組みます。結果については問題箇所の早急な修繕を市長に要望します。あわせて、問題箇所の修繕には小規模工事登録業者への発注を要請し、地域経済の活性化にもつなげていきます。

3、新座支部住宅センター

昨年、市内で横行した悪徳リフォーム業者から市民を守るための受け皿体制の強化に住宅センターの周知をすすめます。

年に2回、労働安全衛生委員会を開催し、役員を中心に労働災害の分析・学習、職業病対策を行います。委員会開催後は「安全衛生ニュース」を発行し、取り組みを周知します。

9、アスベスト対策

今後は「労災申請後、情報提供サービスを利用してアスベスト給付金申請」をすすめると同時に、労災では対象外となつてしまった仲間にも働きかけます。

10、建設アスベスト街頭宣伝行動

3か月に1度のペースで街頭にて「大宣伝」を行います。

3、自治体対策

新座市との折衝では「住宅リフォーム助成制度の創設（復活）」を要請していきます。また、災害協定締結に向けて、引き続きの要請を行います。

4、建設キャリアアップシステム（CCUS）の推進

労働組合として、①若者に魅力ある産業をつくり、②担い手を確保していくためのツールであるCCUSを「後進の未来のために登録していく」ことを広げていきます。

5、新座支部住宅センター

昨年、市内で横行した悪徳リフォーム業者から市民を守るための受け皿体制の強化に住宅センターの周知をすすめます。

土建国保を守り

社会保障の拡充を

求めるたたか

【運動の経過】

1、予算要求・補助金獲得の取り組み

夏（5〜7月）と秋（9〜11月）に国保組合への予算確保を求める予算要求ハガキ要請行動に取り組みました。

新座支部では、夏は491枚（101.2%）、秋は4929枚（100.6%）の到達でした。

2、マイナ保険証の国民健康保険をめぐる情勢

2024年12月2日以降、

「マイナ保険証」、「マイナンバーカードを持たない人の資格確認書」、「顔認証限定マイナ保険証」の3種類のカードが医療機関の窓口において利用され、混乱必死の状況となります。

3、土建国保の魅力を広げ、実増ができる国保組合をめざして

国保実増キャンペーンに取り組み、2023年3月1843人から2024年3月・1860人へ17人実増しました。

4、保険証渡し会

今年度も昨年に引き続き「保険証渡し会」として取り組みました。

5、土建国保料の月額改定を巡って

2024年6月分（5月引落）から土建国保の月額保険料が値上げとなり、新座支部では、保険料の改定に向けて全組合員へ行き渡るように運動を進めてきました。

仲間の助け合い事業

どげん共済会

【運動の経過】

1、総合共済 給付状況

今年度は、これまで拡充してきた制度の普及に力を入れてきました。とりわけ、事業所従業員への普及のため、ショート動画のQRコードを掲載した「事業所用共済チラシ」を作成し、第1推進期間での共済推進や拡大月間での事業所訪問で活用されてきました。

2、どげん火災・地震共済

2023年3月世帯数の2%・48件を目標に、今年度の加入者は火災共済17件、地震共済は11件の到達となりました。2024年3月31日時点では、支部の火災共済の加入状況は292件14・1%、地震共済は77件26・4%となっています。

4、自転車保険 『サイクルん』

安くて大型補償の『サイクルん』は好評につき、支

てきました。

2023年3月世帯数の2%・48件を目標に、今年度の加入者は火災共済17件、地震共済は11件の到達となりました。2024年3月31日時点では、支部の火災共済の加入状況は292件14・1%、地震共済は77件26・4%となっています。

秋の拡大月間を中心とした「第1推進期間」、春の拡大月間を中心とした「第2推進期間」と位置づけ、活動サイクルの確立をすすめます。

2、つくりあげてきたメリットを仲間に広げる

総合賠償責任補償は2024年6月からは新たに取引先の倒産や売掛金の回収不能時の補償「あんしん・取引マスター」がオプション

部での加入件数は137件の加入となっています。

3、総合共済

引き続き、これまで拡充してきた制度の宣伝・普及をすすめていきます。事業所へのアプローチが引き続きの課題となつてい

引き続き、これまで拡充してきた制度の宣伝・普及をすすめていきます。事業所へのアプローチが引き続きの課題となつてい

第2推進期間を中心とした「第1推進期間」、春の拡大月間を中心とした「第2推進期間」と位置づけ、活動サイクルの確立をすすめます。

拡大月間でのテーマ別訪問や仲間訪問時に事業主・一人親方の仲間にパンフレットを渡して、宣伝・普及をすすめていきます。

9月10日、学習会後に開催し、9分会18人が参加しました。拡大速報作成をメインとし9分会がその日に発行、残り1分会も後日作成することが出来、今年度は全分会が拡大速報を発行できました。

日本機関紙協会埼玉県本部51周年機関紙コンクールでは主婦の会が和み部門で特別賞を受賞しました。2024年新年号機関紙コンクールでは「土建にいざ」が審査員特別賞を受賞しました。また、第47回埼玉土建機関紙コンクールでは「土建にいざ」が優秀賞を受賞しました。

7、インフルエンザ集団予防接種

例年の課題となる、「駐車場の問題、予約枠の問題」の2点を解消するため、今年度は会場を朝霞産業文化センターへ変更し、予約枠を200人に増やし開催しました。11月29日に朝志和支部と合同で開催し全体で308人（新座145人、朝志和163人）が参加しました。

6、アスベスト対策

新座支部では「アスベスト関連疾患通院支援金」は今年度2件給付されました。

1、土建国保を守るたたかい

医療、介護、障害者サービスの切り捨てに反対し、新自由主義路線の強調である自己責任論の「自助」よりも最優先される「公助」の役割を国へ求めていきます。

2、予算要求ハガキ要請行動

全建総連の仲間とともに、土建国保の補助金獲得のハガキ要請行動を成功させていきます。年2回（7月と12月）の要請ハガキに取り組み、手書きのハガキを集めていきます。

3、土建国保の2024年度事業計画について

土建国保の制度を仲間の確信に、10割給付の歴史を引き継ぐ一部負担払戻金をはじめ優れた諸制度を知らせていきます。

1、機関紙活動

新たな企画として役員紹介や現場から見た景色など機関紙に興味を持ってもらえるよう作成しました。

2、分会ニュースについて

年1回以上の分会ニュースは全分会が発行。1年間定期発行した分会は2分会でした。

3、分会ニュース作成会

9月10日、学習会後に開催し、9分会18人が参加しました。拡大速報作成をメインとし9分会がその日に発行、残り1分会も後日作成することが出来、今年度は全分会が拡大速報を発行できました。

1、機関紙コンクール

日本機関紙協会埼玉県本部51周年機関紙コンクールでは主婦の会が和み部門で特別賞を受賞しました。2024年新年号機関紙コンクールでは「土建にいざ」が審査員特別賞を受賞しました。また、第47回埼玉土建機関紙コンクールでは「土建にいざ」が優秀賞を受賞しました。

1、機関紙活動

読まれる機関紙を目指し、仲間の顔や声が出る連載記事を作成していただきます。

2、分会ニュース（速報）作成会

過半数の分会が定期発行を出来るように年間1回以上の開催を企画します。

教育宣伝と学習活動について

【運動の経過】

1、機関紙活動

新たな企画として役員紹介や現場から見た景色など機関紙に興味を持ってもらえるよう作成しました。

2、分会ニュースについて

年1回以上の分会ニュースは全分会が発行。1年間定期発行した分会は2分会でした。

3、分会ニュース作成会

9月10日、学習会後に開催し、9分会18人が参加しました。拡大速報作成をメインとし9分会がその日に発行、残り1分会も後日作成することが出来、今年度は全分会が拡大速報を発行できました。

1、機関紙コンクール

日本機関紙協会埼玉県本部51周年機関紙コンクールでは主婦の会が和み部門で特別賞を受賞しました。2024年新年号機関紙コンクールでは「土建にいざ」が審査員特別賞を受賞しました。また、第47回埼玉土建機関紙コンクールでは「土建にいざ」が優秀賞を受賞しました。

1、機関紙活動

読まれる機関紙を目指し、仲間の顔や声が出る連載記事を作成していただきます。

2、分会ニュース（速報）作成会

過半数の分会が定期発行を出来るように年間1回以上の開催を企画します。

1、労働学校

10月22日に岡野部長を講師に一日で6課を学習するという新しい形で取り組み、8分会26人（初参加9人）の参加で行いました。今回の参加者は新座支部としての卒業とし、修了証書も発行しました。

1、分会新役員学習会

組合業務・共済審査・班会議での財政処理など実務面を重視した役員任務の学習を中心に行います。

2、支部役員学習会

組合活動の中心になって活動する役員を対象に活動者会議の中で役員学習に取り組みます。

3、労働学校

2024年度の労働学校は、新たな活動家を育てる観点から、6月、7月頃の開催を予定してまいります。

4、要求実現へ向けた学習

7月には新座市長選挙が行われます。労働組合として平和を守る思いや要求実現に向けて、学習運動を強化します。

組織を拡大強化する闘い

【運動の経過】

1、組織建設の到達

全県の2024年3月現勢は、6万4833人で確定、2023年3月から22人増・増減比0.03%となり、3年ぶりの実増を果たしました。新座支部では3月現勢は「2446人」で確定し、2023年3月現勢「2443人」から3年ぶりの組織実増を掴み取ることができました。実増を果たした一因として、拡大数は6〜8月の全県の技能実習生加入の約10分の1が新座であり「新規雇用Ⅱ適除加入」が引つ張ったほか、4月の加入が昨年より22人増え、脱退が23人減り、4月から8月まで大会現勢を100%以上で維持し続けて秋の拡大月間に突入できたことが2つの実増ラインの突破につながりました。

2、組合活動の

「新しいカタチ」

活用している3つのSNS（支部LINE、支部ブログ次世代YouTube）のうち、特に支部LINEの活用は、有料プランに切り替え、拡大月間でのニュースや各種お知らせなど多岐にわたり発信しました。一年間で登録者が49人増

（登録者267人）、毎月
の定例配信はのべ37通を重ねています。

3、組織検討委員会の開催

今年度も副支部長・常任が勇退される事もあり、数年先を見据えた新しい役員体制の確立をすすめることができました。分会再編では、野火止南と野火止北が合併して「野火止分会」、北東と大和田が合併して「新座中央分会」としてあらたな一歩を踏み出しました。

3、シニア友の会について

全県のシニア友の会で開催した「支部対抗ボウリング大会」に支部予選会（2023年11月）を開催して臨み、第1回優勝支部となりました。

【新年度方針】

1、組織建設目標について

2024年度は、第13期3カ年計画の最終年度として、「持続可能な組織強化」勝利の方程式を確立させ、「組織拡大」と「役員づくり」を相乗的にすすめる、組織2500人の峰への再挑戦として、2025年3月現勢の実増を何としても勝ち取り、その先に1%実増を見据えます。年間の組織建設目標は、拡大数（13%）と脱退数（12%）を基本にすすめます。分会

目標の設定には様々な角度からの視点や分会の組織数、役員・活動家数、総合的な力量も考慮しつつ討議をしていきます。

2、分会常任執行委員・班

役員再確立

2024年度も「新しい役員づくりの年間サイクル」を実践して、次世代・50歳代の仲間の役員登用を意識的にすすめていきます。班の役員体制では、班員のみならず班員候補も議論をすすめて、2025年の班総会・分会大会でまわり番確立をめざしていきます。

3、組織納入・班会議

班会議を改めて、「月に一度仲間と顔を合わせる場」「今月も私は組合員と確認する場」として位置付けていきます。組合の取り組みを仲間にしつかり伝えることを主題に、出された

財政活動について

【運動の経過】

1、支出の部

1億4398万4346円となり、91・11%の執行率となりました。

2、単年度決算について

単年度決算は48万6323円の赤字となりました。次期繰越金は1519万8421円となりました。

3、組織納入の取り組み

今年度の組合費の納入率

意見等は班会議報告書で支部に返すことを徹底します。組合費納入については、「DSK（もしくはキヤッシュレス）納入、DSK用紙（キヤッシュレス用紙）配布の班会議」という形式に変えていく議論、組織を強化・整備していく対策などとあわせて、次期中期計画の中ですていきます。

次世代の組織化と活動家づくり

【運動の経過】

1、分会部長の選出状況

分会次世代対策部長は10分会中7分会から選出され、補佐役としての部員は4人選出されています。

2、親子工作祭り（202

3/8/20）親子工作祭りは、要員を含めて全体で42人が参加しました。

3、分会次世代訪問行動

12月18日に訪問による行動を行いました。

4、次世代三連続セミナーの報告

①第一部「インボイス学習会」（10/25）14人の参加で開催されました。

②第二部「IDeCo・NISA学習会（11/27）」

中央労働金庫の方を講師に9人の参加で開催されました。

③第三部「ふるさと納税・こくみん共済学習（12/6）」

こくみん共済COOP（全労済）の方を講師に8人の参加で開催されました。

5、冬の行事「スキー・スノボ・温泉ツアー」の報告（1/28）スキー・スノボ温泉ツアーは、今年度は川場スキー場と川場悠湯庵へ18人が参加して開催しました。

6、次世代語らふカフェの開催

全体で14人が参加しました。2人の新しい方に参加をしていただき、CCUSの登録状況や、2024年4月1日から始まる働き方改革に向けての話題に話が弾みました。

7、青年フェスタについて

新座支部から要員として5人が参加し、全体では3000人を超える来場者でにぎわいました。

【新年度方針】

1、新たな活動家づくりをめざして

①「さらなる役員づくりの

前進、活動家としてのステップアップを目指していきます。

②語らふカフェの定例開催を目指します。

③直接対話のできる「次世代がらばらナイト」に引き続き取り組んでいきます。

④夏休みの大規模行事を新型コロナ感染状況をみながら開催方法を検討して、新たな次世代層とのつながりを発掘していきます。

2、青年部に対する援助
新年度は青年部の自発的な活動を尊重し、合同の会議を開催しながら、参加者確保などにも積極的に援助していきます。

3、地域青年行事への参加

他の労働組合と協力しながら、青年部が様々な行事に参加できるように地区労や諸団体の行事を有効に活用していきます。

4、新年度の取り組み

①班会議への定着と組合費納入を徹底し、納入率向上を目指します。

②年間平均納入率98%以上の分会を表彰します。

5、事業所とのつながり強化
事業所が丸ごと脱退してしまうと組織数は大きく減ってしまいます。脱退としないようにしながら、組合の運動への協力へとつながっていきます。

3、事業所対策について

納入率が大きく引き下がるとの要因の一つに、事業所の未納が挙げられます。分会からの働き掛けで対話の中から未納になった理由をつかみ、改めて班会議への定着、納入日までの納入を訴えていきます。

2、納入率の向上をめざして

①改めて未納対策の強化を図るため、未納者リストの活用を徹底します。「優しい声掛け」で未納者への働き掛けをすすめていきます。

②年間平均納入率98%以上の分会を表彰します。

③事業所が丸ごと脱退してしまうと組織数は大きく減ってしまいます。脱退としないようにしながら、組合の運動への協力へとつながっていきます。

春は行事の季節

野火止分会の アッコウ鍋と いちご狩り

三月三十一日(日)

に、合併後初めての野火止分会バスハイイクに、三四人(子供七人を含む)が参加して、抜けるような青空に恵まれて行われました。

黒川分会長は、「今、このバスに乗っている方々は、全員分会役員候補になりますので、よろしくお願います」と挨拶すると、板橋さんが「すぐに降りてくださーい」と返事があり、続いて河又厚文委員長が、「分会が合併して初めてのバスハイイクです。大勢参加していただきありがとうございます。今日一日、沢山飲んで食べて、目一杯楽しんでください」と挨拶しました。

最初の立ち寄り地は、干し芋などを製造販売している大丸屋さ



沢山買い物をして美味しい食事を楽しみ

んで面白い物です。干し芋が意外に高いので、皆ビックリでした。続いて、那珂湊おさかな市場で、発泡スチロール箱に、新鮮な魚を沢山詰めてもらっていました。それから、大洗海岸を見渡せる潮騒の湯で、期待していたアッコウ鍋の昼食ですが、肝も入っていたが、身の少ないアッコウだったのでとてもおいしかった分、少し残念でした。次の道

の駅グランテラス筑西での、いちご狩りも、天候不順だった今年のは、なかなか食べ頃的美味しそうないちごを探るのが大変でした。初参加者にインタビューしたところ、栃内さんは、「楽しかった、また参加したい」と、井坂さんは「楽しかったけど、ゆっくりにできる時間があると良かった」と、豊島さんは、「朝一のビールは、冷やしておいて欲

シニア友の会の いちご狩り バスツアー



四月二十日(土)

に、二四人が参加し、晴天に恵まれてシニア友の会バスハイイク行われました。

予定通り朝八時に支部事務所を出発して、松田会長から「今日一日けがの無いよう、自分の体と相談してお酒とつきあい、楽しんで

しかった」と、板橋さんは「飲んで食べて遊んで、楽しかった、次回も参加したい」とそれぞれ感想を答えてくれ、皆楽しむことが出来たようでした。

【野火止 岡野和夫】

ください」と挨拶があり、廣間書記長からは「初めて参加しましたが、六月からは本部に異動になるので、最初で最後のバスハイイクになります」と挨拶がありました。途中渋滞もなく予定通り新治村の道の駅たくみの里に着、一時間ほど散策と買い物を楽しみました。ウドや

バスの中は大盛り上がり最後のバスハイイクになります」と挨拶がありました。途中渋滞もなく予定通り新治村の道の駅たくみの里に着、一時間ほど散策と買い物を楽しみました。ウドや

されていました。その後、月夜野方面に少し戻って、和食レストラン「しんりん」で昼食となりました。

午後からは、沼田にある原田農園でいちご狩りです。かおりとやよい姫という二種類の品種のいちごを楽しみました。昼食からそれほど時間が経っていませんのに、みなさんお歳なのにご入るのかと思う位、たくさんのおいごを頬張っていました。お聞きすると、

「食事といちごの入る場所は別」とのことでした。一時間ほど滞在し、お店でお土産にいちごを買い、次の目的地、道の駅川場田園プラザに向かいました。四五分ほど見学して、帰路につき、沼田インターから関越道に乗りました。バスの中では、ビンゴゲームを楽しみ、たいした渋滞もなく、予定より早く支部事務所に到着し、解散となりました。

【野火止 岡野和夫】

御成橋分会の いちご狩り



大人も子供もみんな大好きないちご狩り

3月30日晴天の中、14人の参加者で狭山ベリーランドにて、いちご狩りイベントを開催致しました。少し水っぽいとの感想もありましたが、参加した皆さんはお腹いっぱいいちごを堪能しました。本来なら地元でイベントを開催する予定でしたが、予定地の都合により開催地の変

【御成橋

小池直樹】

当面の予定

5月	
曜	新座支部
7 火	常任執行委員会
8 水	支部執行委員会
12 日	本部大会
13 月	本部大会
19 日	第54回支部定期大会(新座市民会館)
20 月	納入日
23 木	分会書記長会議 無料法律相談
28 火	教宣部会



↑旧光華殿の屋根葺き替え工事中



私の一枚

私の趣味の1つは、歴史的建造物を見て伝統的木造建築の素晴らしさを知る事です。江戸時代から明治、大正、昭和の初めに造られた建物です。小金井公園内にある「江戸東京たてもの園」は、その様な建造物を移築し、復元と保存をしています。何度も訪れています。

ですが、今年は正面出入口にそびえ立つ(旧光華殿)の屋根葺き替え工事を行っているのと知り3月初旬に見学しました。古い屋根を下地から取り換え、銅板屋根工事を施工中で数多くの職人さんが真剣な眼差しで取り組んでいます。

でいました。「江戸東京たてもの園」には、私が尊敬する建築家前川國男邸があり、切妻屋根で内部は吹き抜けの居間や書斎などシンプルなおしゃれな空間が広がっています。公園は広く、四季折々の花を楽しんだり子ども遊びにも適しています。毎日忙しく働いている皆さんたまにはゆっくりと公園を楽しみ、建造物を見学して見てはいかがでしょうか。【栗原 恩田宏】

あなたの「私の一枚」を募集中です

分会・名前・写真とその写真への思い(300字程度)を下記メールアドレスに送ってください

見事掲載されましたら、図書カード、クオカードなどの景品を贈呈します。

申込方法↓

niiza@saitama-doken.or.jp

クロスワード

- クロスワードパズル**
- 1 ヨコのカギ
 - 2 分別して出しましょう
 - 3 緑玉石とも呼ばれる5月の誕生石。○○グリーン
 - 4 セメント製造の原料
 - 5 AIは「人工○○」
 - 6 日本国の別名。大和○○
 - 7 ○○サインは「行け」「進行せよ」の合図です
 - 8 生兵法は大げかの○○
 - 9 囲碁には必需品です
 - 10 ポツンとある島アルプス地方特有の民謡
 - 11 SNSの一種で、スタンプや既読機能もあります
 - 12 5番目に太陽に近い惑星
 - 13 タテのカギ
 - 14 楽譜を書くための用紙
 - 15 ○○蜂。○○蛾
 - 16 人工○○星。○○星放送
 - 17 巨大なこと。百万倍を表わす。○○ヘルツ。○○トン
 - 18 お子様○○には旗が立っています
 - 19 縄文時代の土で
 - 20 作った人形母の日の花
 - 21 ○○過ぎれば熱さを忘れる
 - 22 童謡こいのぼり「おおい○○はおとうさん」
 - 23 ○○下暗し
 - 24 アカデミー賞・視覚効果賞を受賞した『○○ー1』
 - 25 ワインの瓶の栓
 - 26 示威運動の行進

本紙の購読料は組合費に含まれます

ハエガキクロスワードの答えは、この紙面に掲載されています。ご希望の方は、毎月6日発行の「私の一枚」を募集しています。応募先は、niiza@saitama-doken.or.jp

【編集部一同】

機関紙の感想を寄せてください

当選者には図書カード(500円)をお送りします。

*以上の方が当選しました。

- ★(野寺) 式守幸重
- ★(片山) 三ツ井涼子
- ★(片山) 伊藤静子
- ★(栗池田) 四茂野晴夫
- ★(野火止) 橋本千代子

(敬称略)

当選者は左記の通りです。『ハルキャベツ』で正解者は13人でした。

*4月号の答えは

答え「ハルキャベツ(春キャベツ)」

サ	ル	ス	ベ	リ	コ	キ
ク	イ	ケ	ツ	キ	ハ	ツ
ラ	ツ	ツ	イ	シ	ン	ウ
ツ	ハ	ル	チ	イ	ル	カ
チ	ヤ	ボ	カ	ナ	ゴ	ー
ス	キ	ヤ	ナ	ル	サ	バ
ハ	ミ	ン	グ	ル	ン	バ

クロスワードの答えと当選者